

2013年3月7日
イオングループ

3/9(土)～3/11(月)は東北の子どもたちを応援する特別な「イオン・デー」 「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を全国1,600店舗で開催

イオンは、3月9日（土）から11日（月）の3日間、全国のGMS「イオン」やSM「マックスバリュ」など約1,600店舗で、東日本大震災の被災地の子どもたちを応援する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。お買い物を通じてお寄せいただいたお客様の復興への想いを、イオンが東北の子どもたちへ届けます。



毎月11日の「イオン・デー」に実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、地域のボランティア活動を応援する取り組みとして2001年より12年間にわたり実施しているものです。「イオン・デー」にはレシートの色が黄色に変わり、地域で活動しているボランティア団体ごとに設置されたボックスにお客さまのレシートを投函していただきます。投函されたレシートの合計金額の1%に相当する物品をイオンが寄贈し、地域のボランティア活動にお役立ていただいています。これまでにのべ17万団体に19億円相当を寄贈しました。

東北の子どもたちが「夢のある未来」に向かって健やかに成長してほしいとの想いから、当社は昨年に引き続き、3月の「イオン・デー」を特別なキャンペーンと位置づけ、期間を3日間に拡大して実施します。

昨年の期間中は、多くのお客様にご来店いただき、「買い物を通じて東北の復興に参加できる」という声が多数寄せられました。レシートの投函率は通常の「イオン・デー」の1.5倍となり、レシート金額は合計120億円を越えました。当社は、その1%にあたる約1億2千万円を被災された子育て中の家庭をサポートする公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付しました。

本年は、「東北復興支援WAON」を通じた寄付とともに震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の子どもたちの生活支援・就学支援のための基金に寄付し、子どもたちの未来のために役立てていただきます。

イオンは、「復興への願いをカタチに」という想いのもと、全国のお客さまとともに被災地の復興、そして「夢のある未来」の実現に向け、これからもさまざまな活動に取り組んでまいります。

【イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン】

実施期間：3月9日（土）～3月11日（月）

実施店舗：全国のGMS「イオン」、SM「マックスバリュ」、「マルナカ」、「光洋」など

グループ25社 約1,600店舗

贈呈先：岩手県「いわての学び希望基金」

宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」

※3月は復興支援のボックスのみの設置になります。そのため、地域のボランティア活動を応援する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、次回4月10日（水）、11日（木）の2日間実施します。

ご参考

イオンは「復興への願いをカタチに」の想いのもと、これからも地域の皆さんとともに歩み続けてまいります。

各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年となる2012年3月、イオンは地域のライフラインとして、被災地の復興、そして「夢のある未来」の実現に向け、地域の皆さんと手をたずさえ、従業員一丸となって取り組む決意「復興への願いをカタチに」を表明しました。そのゆるぎない決意のもと、お客さまをはじめ自治体や生産者、企業の皆さんとのご協力をいただきながら、これまで環境保全・社会貢献活動はもちろん、事業活動を通じてさまざまな活動に取り組んできました。

このような活動が被災地の地域産業の発展や経済の活性化につながるという信念のもと、イオンはこれからも地域の皆さんとともに歩み続けてまいります。

くらしの再生と新たな街づくりへの参画を通じた取り組み

◆事業展開を通じて東北の街づくりに参画

震災により甚大な被害を受けた地域では、新たな街づくりが始まっています。当社は、イオンモールやイオンタウンをはじめ、地域の“くらしのライフライン”となる店舗展開を通じてより豊かなくらしを目指し、街づくりに参加しています。一例として福島県いわき市へのイオンモールの出店、岩手県釜石市、宮城県仙台市へのイオンタウンの出店をはじめ、自治体や地域の皆さんとのご支援・ご協力のもと、積極的に街づくりに参画しています。

◆日々のくらしの利便性向上

集合仮設住宅にお住まいの方を中心に「買い物をする場所が遠くて不便」という多くの声をいただき、岩手県大船渡市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、石巻市を中心に移動販売車を運行しています。大規模仮設住宅がある陸前高田市では、衣料品を中心とした出張販売も行っています。

また、復興の過程におけるお客さまのニーズ変化にいち早くお応えするため、施工期間の短い簡易建築を採用し、昨年5月に「サンデー大船渡野々田店」、10月に「イオンスタイル前田 衣料館」をオープンしました。

さらに、東北6県においてネットスーパーの県内全域配送を実施するなど、生活の利便性向上に努めています。



多くのお客さまにご利用いただいている、陸前高田市での移動販売の様子

商品・サービスを通じた取り組み

◆東北の自治体、生産者、企業の皆さまと協業し、全国のお客さまへ東北産品をお届け

東北は国内有数の生鮮食品の生産地です。イオンは、全国のお客さまに「安全・安心」でおいしい食品をお届けするとともに、東北の産業復興の一助となるべく地域の生産者、取引先の皆さまとともに、全国のお客さまに価値ある東北産品をご提供しています。

【全国の店舗で東北産品を「フロム東北」商品として積極的に展開】



イオンは東北の農水畜産業や安定した企業活動を応援するため、「トップバリュ」を中心に東北産品に「フロム東北」のロゴマークをつけ、全国の店舗で販売しています。宮城県女川の生銀鮭や「いしのまきミディトマト」、福島県産のももをはじめ、これまでに40品目を販売し、今後も継続、拡大していきます。

【東北の生産者さまと開発したファストフィッシュが大ヒット】

2012年8月に岩手県久慈市漁業協同組合、三陸鉄道株式会社と協力し、国内初となる「ファストフィッシュ」商品として、三陸産「骨取り味つきさんま」を発売しました。第一弾発売以来大変ご好評をいただき、本年2月には二者と再び協力して「骨取りさば」を発売。このほかにも、東北の自治体、生産者の皆さまと全9品目を開発し、販売数はこれまでに100万パックを超えていました。



ファストフィッシュ第一弾の「骨取りさんま」



本年2月に発売した新商品「骨取りさば」

【お取り寄せカタログで、東北の旬の味を全国にお届け】

2012年8月より東北の旬の味を全国にお届けする「東北応援 旬のお取り寄せ」カタログをグループ約1,300店舗、オンラインショップ「イオンショップ」で展開。三陸産の生さんまや会津産みしらず柿をはじめ、東北の名産品を全国のお客さまにお取り寄せいただき、ご好評をいただいているます。

◆金融サービスを通じた暮らしのサポートを実施

グループの総合力を活かし、被災地の方々への金融サービスとして震災発生直後から住宅ローンやリフォームローンをはじめ、生活資金としてお役立ていただく緊急特別ローンの取り扱いを実施しました。また、有人店舗の営業を早期に再開し、生活再建のご相談をお受けしています。

環境・社会貢献の取り組み

◆全国のグループ従業員が一丸となった東北での環境・社会貢献活動

イオンは、労使一体となって現地でのボランティア活動などを行う「イオン 心をつなぐプロジェクト」や東北の緑を取り戻す植樹活動をはじめ、東北の皆さんとともにふるさとの再生と発展に取り組んでいます。

【30万本の植樹活動をスタート】

イオンは、緑が再び地域に戻ることを願って10年にわたる30万本の植樹活動を昨年よりスタートしました。計画の初年となる昨年は、津波被害の大きかった沿岸部3カ所で19,200本の植樹を行いました。本年は3月9日（土）、イオンスーパーセンター石巻東店で開催する「新しい未来へ イオンふるさとの森づくり」植樹祭をはじめ、5万本の植樹を行う予定です。



地域の皆さん 1,500名にご参加いただいた
石巻市「新しい未来へ イオンふるさとの森づくり」

<2012年の植樹活動>

3/11（日）宮城県塩釜市「イオン 心をつなぐ森づくり」1,200本
10/7（日）宮城県気仙沼市「海べの森の植樹祭」3,000本
11/17（土）宮城県石巻市「新しい未来へ イオンふるさとの森づくり」15,000本

【全国のお客さまとともに東北で植樹する苗木を育てる活動をスタート】

東北の緑が蘇るためにには、多くの苗木が必要となることから、本年より東北に植える木の苗を全国のお客さま、従業員で育てる「ふるさとの森 里親運動」を展開しています。里親となってくださるお客様へ苗木をお預けし、1年から2年育成していただきます。成長した苗木をお近くのイオンの店舗にお持ちいただき、東北の皆さんとともに東北の海岸林に植樹します。3月3日（日）茨城県で開催されたイオンモールつくば「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭では、地域の皆さん745名の方々にご賛同いただき、苗木の里親になっていただきました。



イオンモールつくば「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭では、多くのお客様が里親として苗木をご自宅へお持ち帰りくださいました。

◆労使一体となって取り組む「イオン 心をつなぐプロジェクト」

【全国のイオンの従業員が東北へ】

イオンは労使で協力し、「被災地で地域の方々の役に立ちたい」という従業員のボランティア活動を推進しています。これまでにグループ581名の従業員が、宮城県陸前高田市で、復興の段階に応じた現場作業などのボランティアに参加しました。



従業員とその家族が参加するボランティア活動。
菜種の脱穀など地域の産業に沿った活動を実施。



立ち枯れした杉を利用した薪割りなどニーズ変化に
応じたボランティア活動を実施。

【震災と被災された方々の想いを伝えるドキュメンタリー映画を上映】

被災した高校生の姿を追ったドキュメンタリー映画「うたごころ」を全国のイオンのショッピングセンターで上映しました。映画は、宮城県南三陸町の高校生を主人公に、合唱を通じて苦難から立ち上がる人々の姿や想いを描き、震災を風化させず、被災地に寄り添うことの大切さを呼びかけるものです。上映会に参加されたお客様からは「被災地の話題が少なくなっているが、まだまだ復興のための応援が必要だと感じた」など改めて復興への想いを強くされたという声が多く寄せられました。

本年は映画「うたごころ」の続編を全国で上映し、引き続き震災の風化防止、被災地への応援を呼びかけます。

◆東北の子どもたちに夢を持つことの大切さを感じてもらう「夢・応援プログラム」

イオングループの主要企業各社で構成するイオン1%クラブは、スポーツや文学、音楽の分野で活躍されている方々とともに被災地の子どもたちの健やかな成長を応援する「夢・応援プログラム」を実施しています。これまでにロンドンオリンピック出場選手による小学校の訪問や、女優の浅野温子さんによるふるさとの良さを伝える読みがたり、ウィーン・オペラ舞踏会管弦楽団によるコンサートを実施しました。これらのプログラムには、のべ2,000名を超える宮城県の小中高生が参加されました。

◆全国のお客さまとともに東北の子どもたちを応援する「東北復興支援WAON」

全国でご利用いただける「東北復興支援WAON」は、ご利用金額の一部を岩手県、宮城県、福島県の被災された子どもたちの生活・就労支援の基金に各県ごとに寄付します。



全国約15,700カ所でご利用いただける「東北復興支援WAON」